

# Javaアプリケーション開発標準 MIDMOST® for Java EE Maia®

日本ユニシスグループのシステム開発の技術、ノウハウを集約

**UNISYS**

Maia

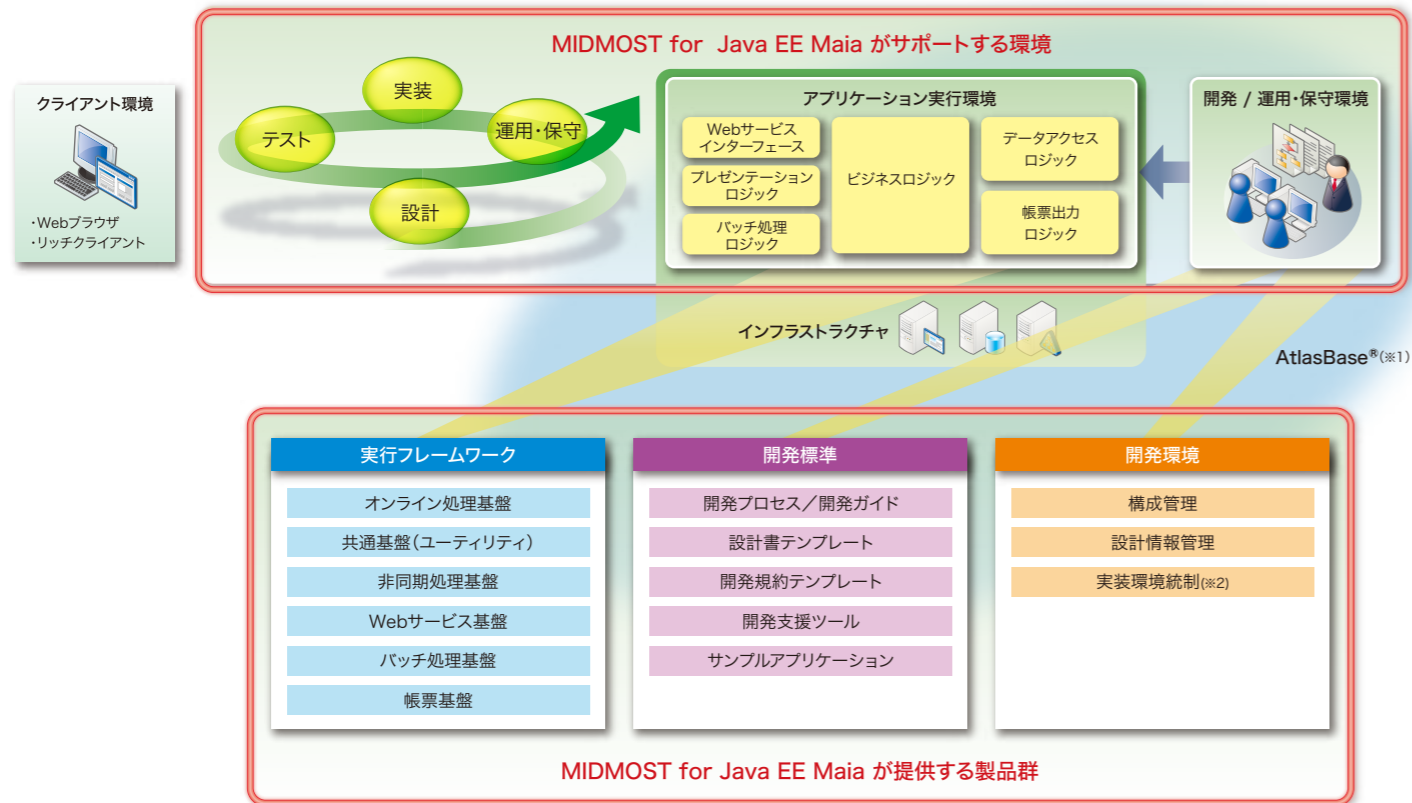
MIDMOST® for Java EE

# 日本ユニシスグループのJavaアプリケーション開発標準 MIDMOST for Java EE Maia

1995年のJava公開以来、日本ユニシスグループは、情報系基盤システムやECサイトの構築などを通じ、Javaを利用した業務アプリケーション開発の実績を積み重ねてきました。

これらの豊富なJava開発実績で培ったノウハウを凝縮したものが、Javaアプリケーション開発標準 MIDMOST for Java EE Maiaです。MIDMOST for Java EE Maiaは、日本ユニシスグループの豊富な業務アプリケーション開発実績の集大成であり、「高品質」・「高生産性」・「優れた保守性」をコンセプトとしたJavaアプリケーション開発標準です。

日本ユニシスグループは、MIDMOST for Java EE Maiaを活用することで、高い品質、高い生産性で開発した業務アプリケーションをお客様へご提供します。また、運用・保守フェーズを含むシステムのライフサイクル全般を、優れた保守性でサポートすることで、お客様を取り巻く環境の変化に柔軟に確実に対応します。



## 提供する製品群の優れた特長

### Javaを利用したシステムに適用実績があるアプリケーションの雛型「実行フレームワーク」

世界的にデファクトスタンダードなOSS(Spring Web MVC, Spring Framework等)を利用し、業務アプリケーションを開発する際に必要となる共通機能をまとめて、アプリケーションの雛型を提供します。実行フレームワークは業務アプリケーション内の共通機能として業務の中核処理から利用されます。

### システム開発を通じて蓄積・改善してきたノウハウの実績「開発標準」

「実行フレームワーク」と連携した設計・開発手法や、各種ドキュメントのテンプレート、ガイドを提供することで、アプリケーション開発における設計・プログラム実装を強力にサポートします。これまで適用してきた数々の業務アプリケーション開発を通じて蓄積してきたノウハウを活かしています。

### システムライフサイクル全般をサポートする「開発環境」

設計書やコードの管理、開発/運用・保守時に使用する実装環境の統制など、開発プロジェクトを運営する上での「開発環境」を整備・運用するための機能を提供します。「実行フレームワーク」と「開発標準」を使用したアプリケーション開発/運用・保守を円滑に進めます。

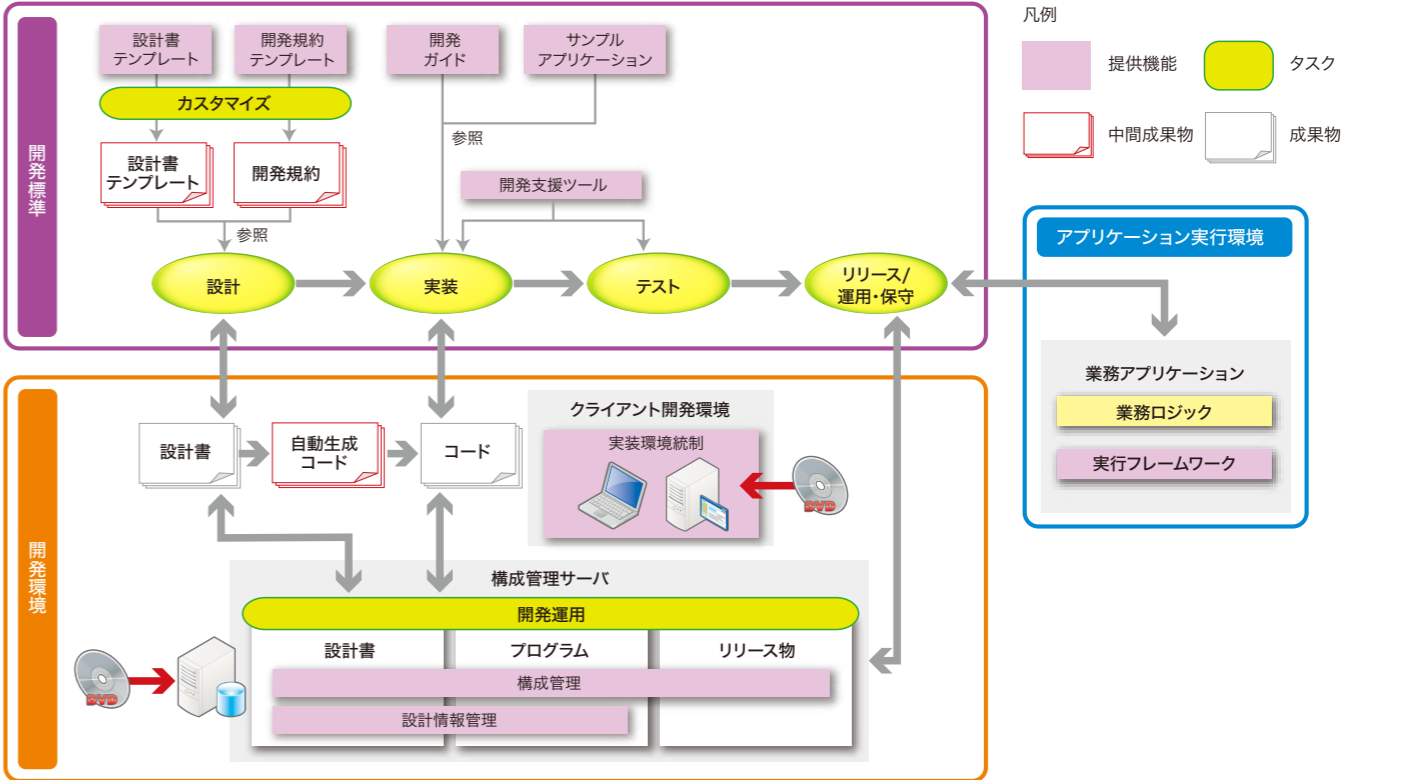
※1 AtlasBase<sup>®</sup>(アトラスベース)とは、日本ユニシスのシステム基盤開発標準です。システム開発のノウハウと知財を体系化・標準化することにより、リスク削減、品質向上、および安定稼働を実現します。  
※2 実装時に必要な環境や、実装した機能を開発者が共有するための配布スキームなどを、クライアント開発環境へ提供します。

## 優れた適用効果

実行フレームワーク	標準的なOSSの組合せを採用 <b>高品質</b>	デファクトスタンダードなOSSを事前検証した上、OSSがカバーしない機能を強化・補完して利用しやすい形にして提供するため、OSSを活用したシステム開発を低リスクで実現可能
	業務ロジックの開発に必要な共通機能を提供 <b>高生産性</b>	日本ユニシスグループの豊富な業務アプリケーション開発実績・ノウハウをもとに、アプリケーション開発時に必要な共通機能(トランザクション管理、ログ出力機能等)を用意しているため、業務ロジック部分の開発に注力可能
開発標準	実践的な開発タスク <b>高品質</b> <b>高生産性</b>	設計・実装タスクでの成果物を明確にすることで、アプリケーションを均質に、効率的に開発可能
	使いやすいテンプレート <b>高品質</b>	開発規約テンプレートや設計書テンプレートで標準化すべき項目の定義や書式・作成粒度を統一することにより、設計・実装が統一されたアプリケーションを実現
	Javaコードを効率的に自動生成 <b>高品質</b> <b>高生産性</b>	設計書からJavaコードを自動生成することで、作業負荷の軽減、均質なコードの生成、設計書とコードのずれをなくした実装を実現
開発環境	効率的な開発運用タスク <b>高生産性</b> <b>優れた保守性</b>	プロジェクトにおける役割(PM、PMO、担当者、検証者、ライブラリアン等)を定義し、役割別の管理タスクを明確にすることで、アプリケーション開発および保守で実施すべき作業をスムーズに行うことが可能
	実践的な構成管理機能 <b>優れた保守性</b>	開発標準に準拠した運用規定に基づく構成管理機能を活用することで、設計書と実装が結びついたバージョン管理とリリース管理を実現
	運用負荷を軽減 <b>高生産性</b>	構築済みの開発サーバ環境(仮想サーバ)と実装環境構築キットを活用することで、プロジェクトの早期立ち上げ、および、開発期間中の運用負荷低減を実現

## 適用イメージ

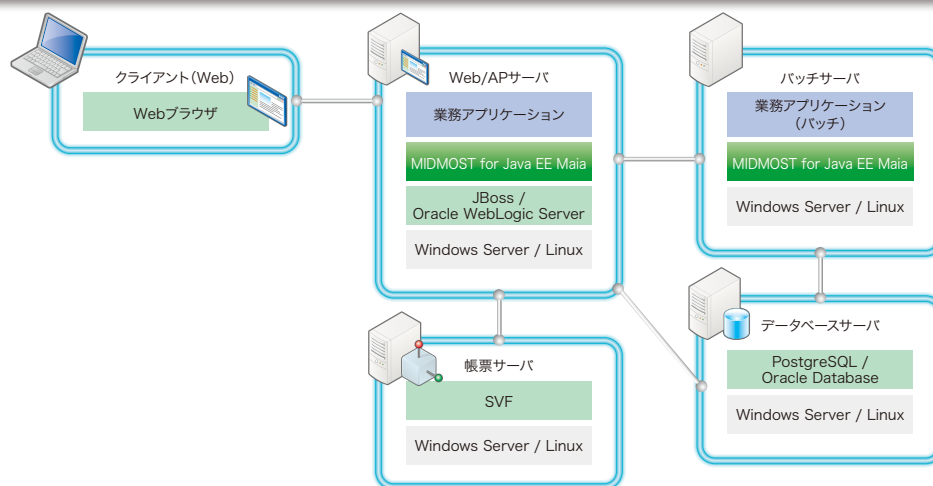
- 設計** 高品質な「設計書テンプレート」「開発規約」を利用して容易に設計書を作成できます。作成済みの設計書は構成管理サーバに登録します。
- 実装** 実装時に必要なソフトウェアが反映されたクライアント開発環境を利用します。また、設計情報から生成された「自動生成コード」や、「開発支援ツール」を活用することで、効率的に実装コードを作成できます。実装済みのコードは構成管理サーバに登録します。
- テスト** 「開発支援ツール」を活用することで、効率的にテストを実施します。またコードの修正の際、設計情報管理機能や構成管理機能を利用することで、設計書/コードの修正箇所チェックや更新内容の反映が容易に実現できます。
- リリース/運用・保守** 構成管理情報からリリース物を作成して、実行環境に配置します。また、運用・保守時でも確実な構成管理/設計情報管理を行えます。



## 提供機能一覧

カテゴリ	機能	ライセンス
実行フレームワーク	オンライン処理基盤 Webサービス基盤 共通基盤(ユーティリティ)	基本機能実行ライセンス
	適時バッチ処理基盤 常駐バッチ処理基盤 非同期基盤	バッチ機能実行ライセンス
	帳票基盤	帳票機能実行ライセンス
開発標準	開発プロセス/開発ガイド 設計書/開発規約テンプレート 開発支援ツール サンプルアプリケーション	開発環境基本セット
開発環境	構成管理機能 設計情報管理機能 実装環境統制機能	開発環境オプションセット

## システム構成例



## 動作環境一覧

カテゴリ	ソフトウェア
<b>開発環境</b>	
統合開発環境	Eclipse
ドキュメント/ 開発支援ツール	Microsoft Office®
帳票設計ツール	SVFX-Designer®
クライアントOS	Windows® Vista 以降
ブラウザ (開発環境使用時)	Windows Internet Explorer® Firefox®

※ AtlasBase, MIDMOST, Maiaは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。  
 ※ Eclipseは米国およびその他の国におけるEclipse Foundation, Inc.の商標もしくは登録商標です。  
 ※ Microsoft, Microsoft Office, Windows, Windows Server, Internet Explorerは、  
 米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標および商標です。  
 ※ Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。  
 ※ Oracle, Javaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国に  
 おける登録商標または商標です。  
 ※ Linuxは、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。  
 ※ SVFX-Designer, SVFは、ウイングアーク1st株式会社の登録商標です。  
 ※ Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 ※ JBossは、米国Red Hat, Inc. ならびにその子会社の登録商標または商標です。  
 ※ その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

カテゴリ	ソフトウェア
<b>実行環境</b>	
アプリケーション サーバ	JBoss® EAP Oracle® WebLogic Server
データベース	PostgreSQL Oracle® Database
帳票	SVF® for Java Print SVF® for PDF
Java VM	Oracle® JDK(32bit/64bit)

カテゴリ	ソフトウェア
<b>利用している主なOSSパッケージ</b>	
Webプレゼンテーション	Spring Web MVC
DIコンテナ	Spring Framework

※各製品のバージョンについては、お問い合わせ下さい。

## 日本ユニシス株式会社

本社 東京都江東区豊洲1-1-1 〒135-8560

電話 03-5546-4111 (大代表)

<http://www.unisys.co.jp/>

<http://www.unisys.co.jp/services/atlasbase/>